

2026年度前期 松永東保育所 職員自己評価チェック

2026年7月実施

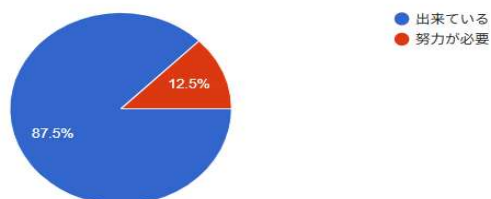
松永東保育所では、毎年職員の自己評価チェックを実施し、
今後の課題や職員間の情報共有が行えるようにしています。

また、日頃の仕事を振り返る事で、自分の強みと弱みを
客観的に把握し、自主的に具体的な計画を立てられるよう
自己の成長を促進する狙いもあります。

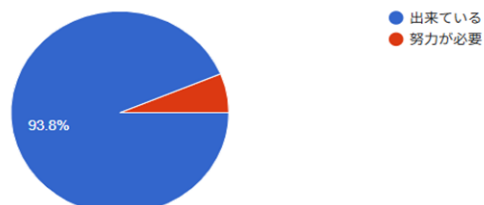


1 保育の理念・保育観

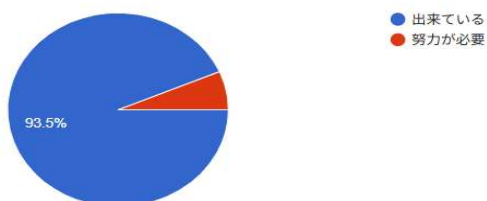
1. あなたは全ての子どもについて、一人ひとりの存在と人権を尊重していますか。



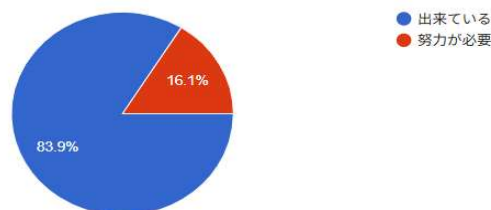
6. 今日の保育所には、入所している子どもの保育だけでなく、ひろく地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。



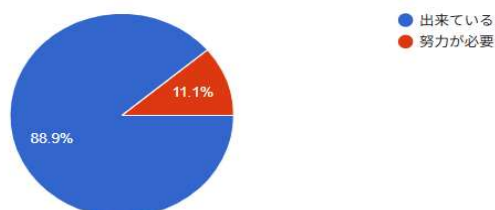
2. 児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育所の必要な使命だと理解していますか。



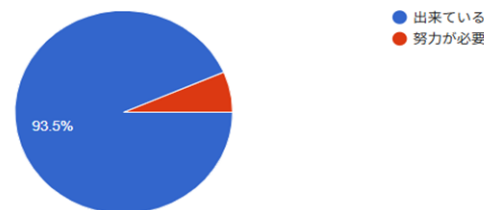
7. あなたは、子どもに文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てよう努めていますか。



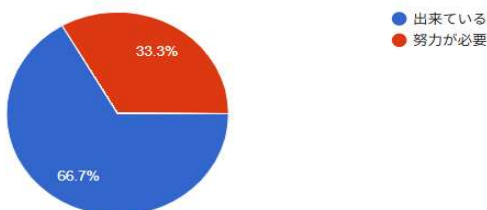
3. 保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。



8. 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。



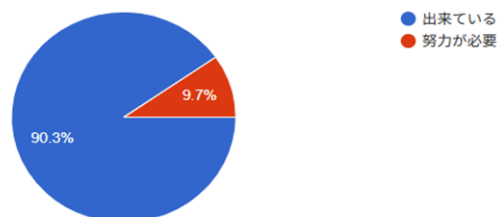
4. あなたの月・週案などには、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（基礎的事項）もしっかりと盛り込まれていますか。



9. あなたは、日頃から、こどもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。



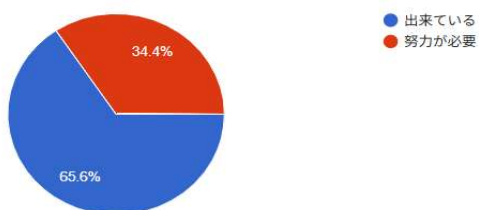
5. あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということ意識して保育していますか。



10. あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。

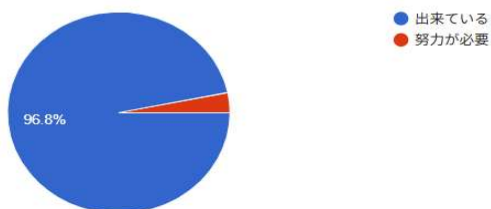


1 1.あなたは、「子ども・子育て応援」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。

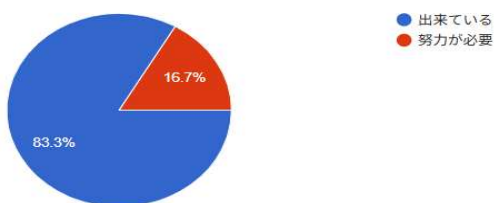


1 2.様々な特徴を持つ子ども持たない子ども、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、すべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。

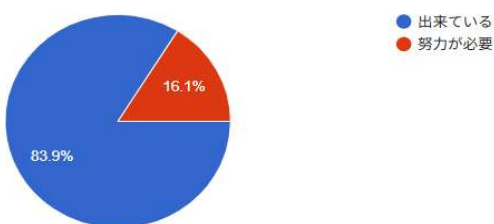
31 件の回答



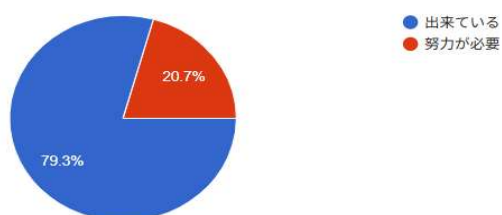
1 3.育児の考え方について保護者とあなたが食い違っているとき、まず相手の気持ちを受けとめ、話し合いその保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。



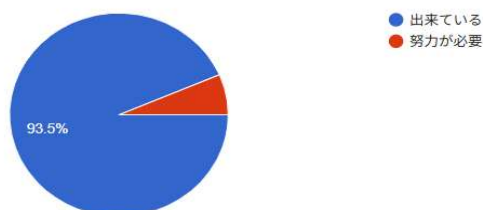
1 4.子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。



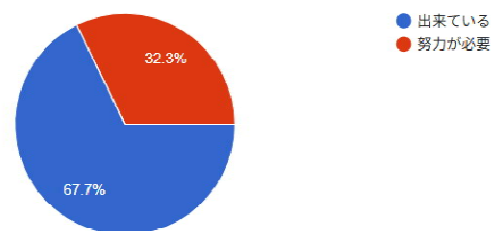
1 5.子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じても、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。



1 6.あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。

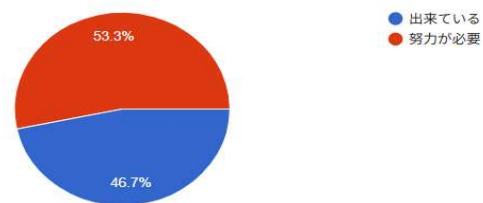


1 7.あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。

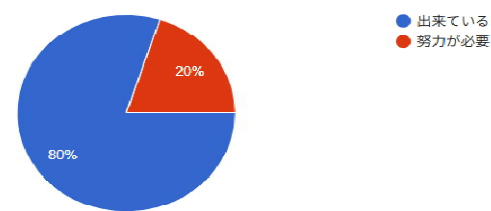


2 保育の内容 1)保育計画・指導計画

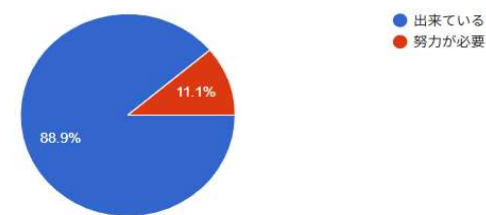
1.あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み参考にしていますか。



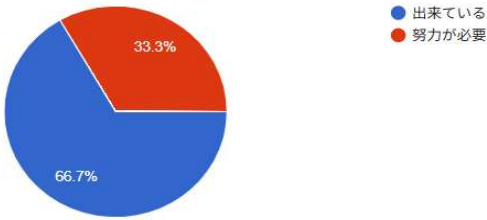
2.あなたは、保育所の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。



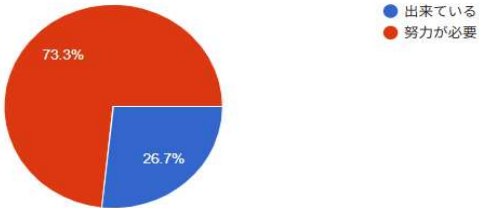
3.保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。



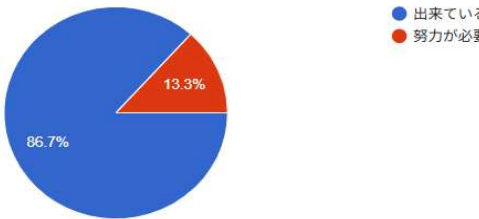
4.あなたの月・週案などには、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（基礎的事項）もしっかりと盛り込まれていますか。



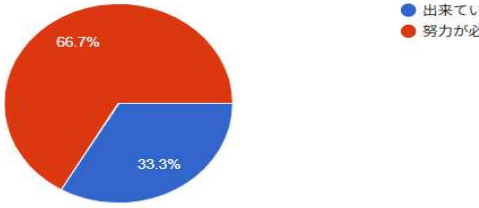
5.あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか。



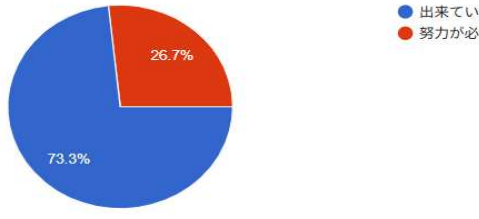
6.子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成していますか。



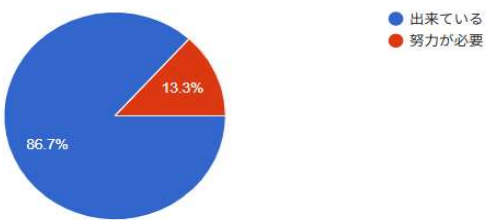
7.あなたの月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。



8.複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。



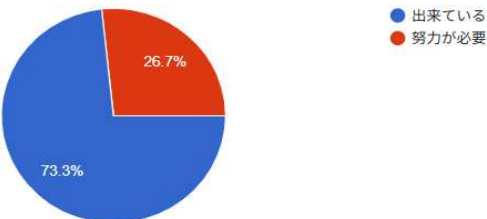
9.保育所の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週・日案などのねらいや内容を、保護者に分かるように説明できますか。



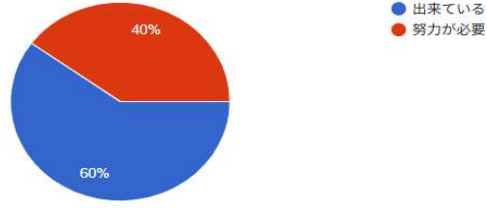
10.あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。



11.月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省していますか。

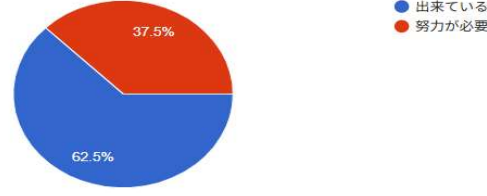


12.月1回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。

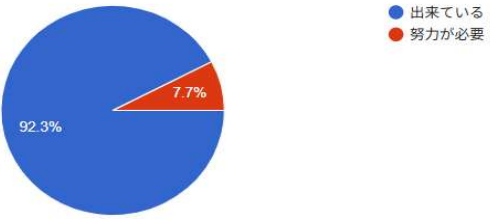


2 保育の内容 2)乳児保育

1.あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。



2. 哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。



7. 赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。



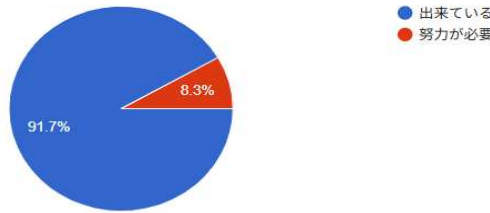
3. 授乳について、その子が欲しがる時にやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。



8. 子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか。



4. 離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。



9. 喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。



5. その子にとって初めての食品を食べさせたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか。



10. 絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。



6. おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。



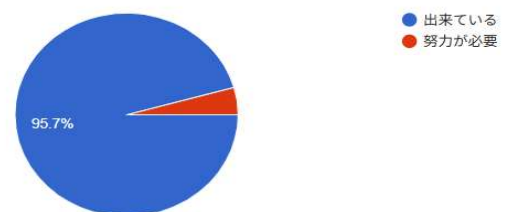
11. あなたがどんな状態にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいと感じることができますか。



1 2.あなたは、自分の服装の色合い、頭髮・爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮していますか。



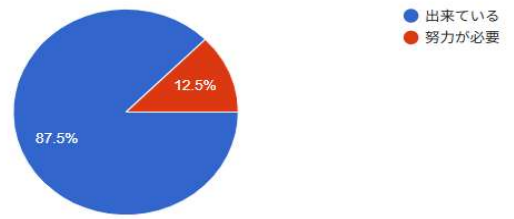
2.「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。



1 3.寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認をしていますか。



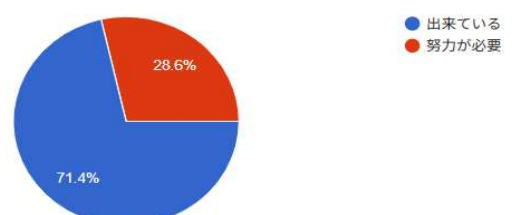
3.あなたは子どもの「これなーに?」、「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしていますか。



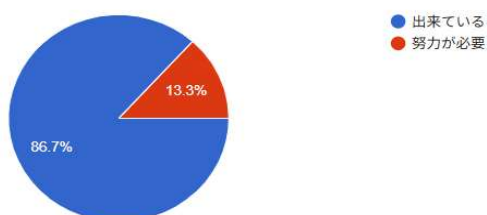
1 4.一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。



4.探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えうえて、子どもが要求する行動を容認できますか。



1 5.連絡帳を活用するなどして、保育所以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。

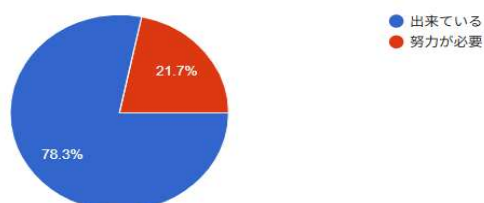


5.着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。

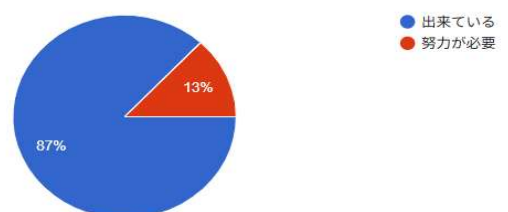


2 保育の内容 3)3歳未満児保育（1・2歳児保育）

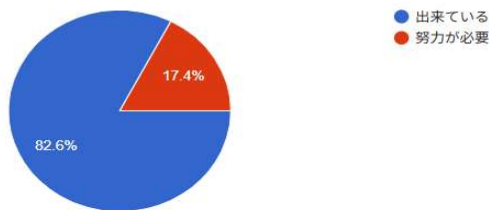
1.大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか。



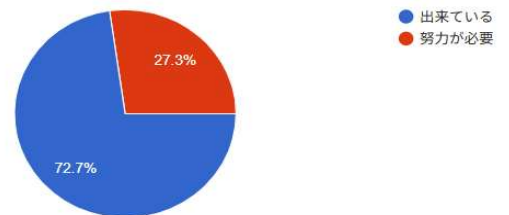
6.食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですごせることを第一に考えていますか。



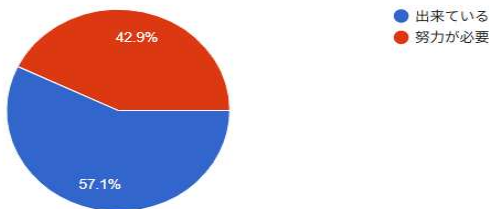
7.子どもがおもちゃの取り扱いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達や心の動きを考えながら、しばらく見守ることが出来ますか。



12.子どもに「絵本を読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」といった場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに応えていますか。



8.「おや、何だろう?」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす材料や素材、場を用意する心配りをしていますか。



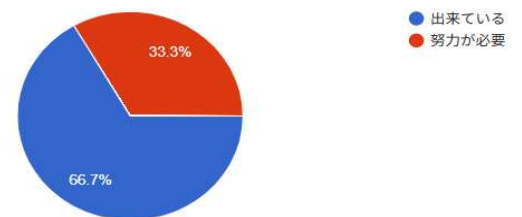
13.歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか。



9.散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしていますか。



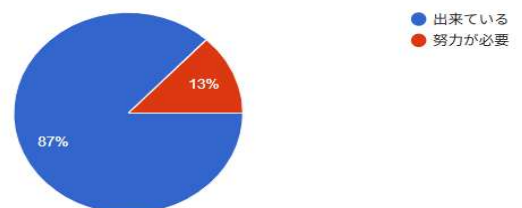
14.わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。



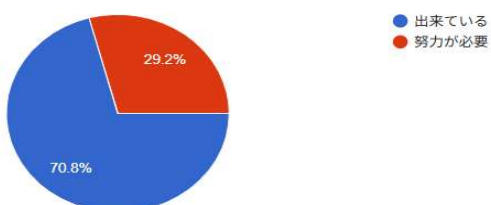
10.子どもと会話をするときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。



15.自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間をとり、ゆったりと待つことができますか。

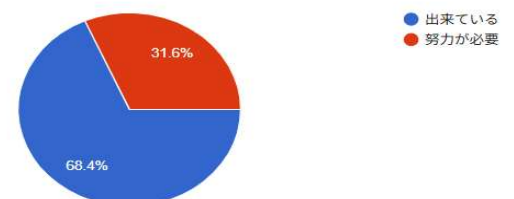


11.あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。

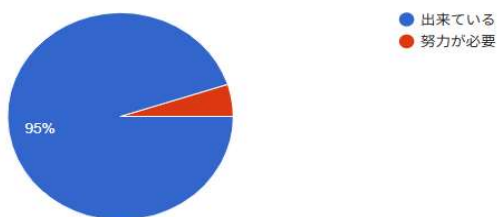


2 保育の内容 4)3歳以上児保育 (3・4・5歳児保育)

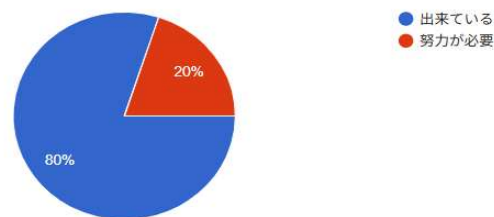
1.全身を使い、様々な遊びに挑戦し、生活の流れを見通しながら、身の回りのことを自分から進んで行えるように、環境の構成や援助をしていますか。



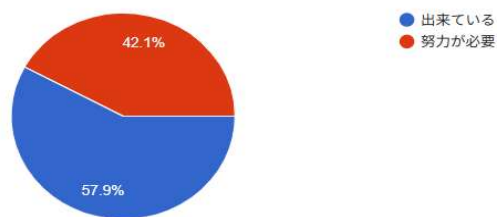
2.話し言葉の基礎ができるので、日常生活での言葉のやり取りなど不自由なくできるよう、温かい人間関係が築けるように配慮していますか。



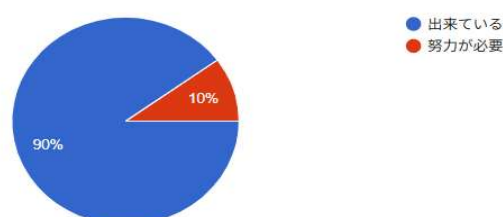
7.一人ひとりの自我の育ちを支えながら、集団として高まっていくことへ配慮をしていますか。



3.知的興味や関心の高まりにつれて、身近な環境に積極的に関わることができるような場の構成をしていますか。

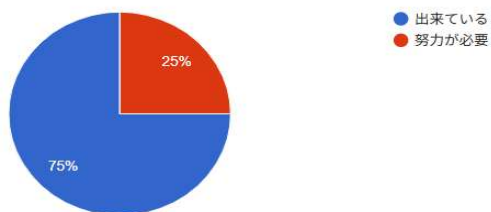


8.安定感を持って行動し、生き生きと活動に取り組むことができるように、生活や遊びの場で、一人ひとりを十分に受け止めていますか。

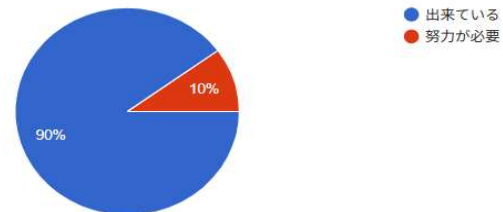


4.身近な環境の様々な特性を知り、それらとの関わり方や遊び方を体得していく中で、思考力、認識力が高まるように援助をしていますか。

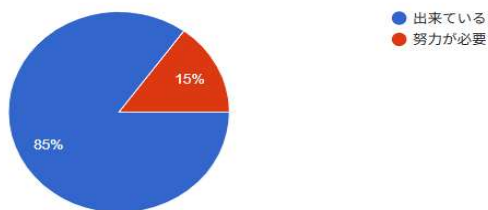
20 件の回答



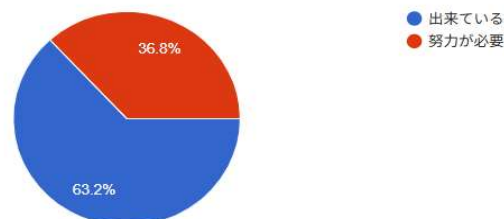
9.心と体の調和をとりながら、健康な生活を営んでいるか留意し、一人ひとりと信頼関係を築いていますか。



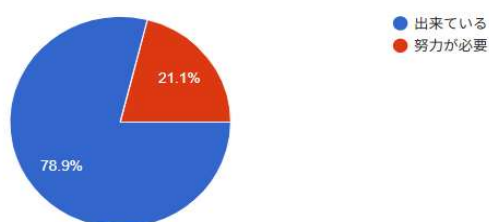
5.自我が育ち仲間とのつながりが深まる中で、自己主張がぶつかり合い葛藤していくので、共通の目的に向けて話し合いを繰り返しながら、互いに折り合いをつける経験を重ねることができるように配慮していますか。



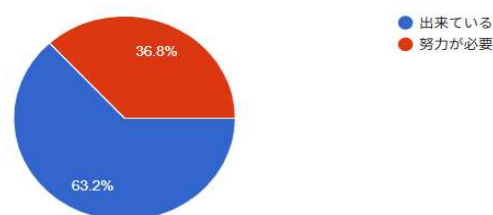
10.子どもの興味や能力に応じて、自らが十分に体を動かす心地よさを味わうことができる遊びの場を作っていますか。



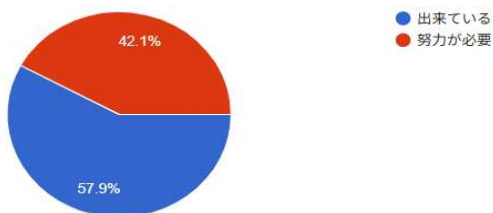
6.仲間の一員として、役割を分担しながら、協同して、ねばり強く取り組むことができる場や、そうした経験を重ねる場の構成をしていますか。



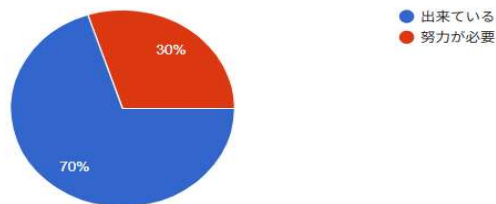
11.子どもの年齢や生活経験に配慮しながら、興味や関心が戸外に向かい、積極的に身近な自然の事物や事象と関わって遊ぶことができるように、遊具や用具の配置、自然環境の整備を考えていますか。



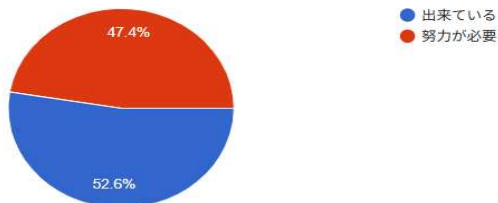
12.活動への取り組みの様子を見極めつつ、必要に応じて、様々な活動に取り組んでみたいという意欲が湧くような環境の構成をしていますか。



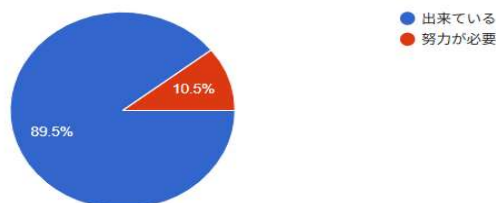
17.芽生え、必要感に基づいて自発的に展開できるように、ゆとりを持って見守っていますか。



13.子どもが実現したいと思っていることを理解し、空間のあり方やそれに応じた遊具の配置の工夫をこらしていますか。



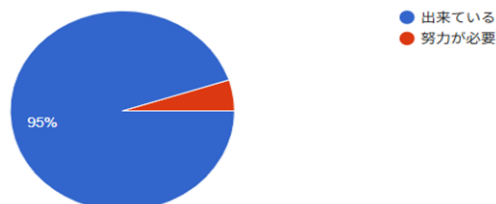
18.保育所生活で起こる怪我や病気、健康診断など様々な機会を捉えて、テレビや新聞などの社会情報を話題にし、触れ合いの中で子どもなりに自分の体を大切にしなければならないことに気づき、手洗いやうがい、歯磨きなど、病気にかからないために必要な行動が自分からできるようになる態度を身に付けるように配慮していますか。



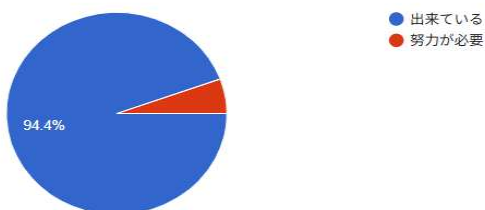
14.自ら進んで食べようとする気持ちが育つように、食べ物への興味や関心を高めるような会話を交わしたり、野菜などを育てたりして、楽しみが感じられるような心配りをしていますか。



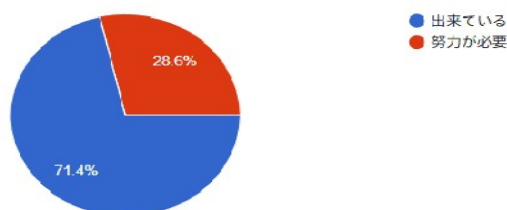
19.危険な遊び方や場所・遊具などについて、その場で具体的に知らせたり、気づかせたり、危険を予測する言葉をかけたり、状況に応じて安全な行動がとれるように日々の生活や遊びの中で伝えていきますか。



15.十分な睡眠やバランスの良い食事、全身を使った活動と休息など生活の流れの中で、子どもの持つ生活リズムに沿いながら、緊張感と開放感、動と静などの調和を考えていますか。



20.交通安全の習慣や災害時の行動のとり方、様々な犯罪から身を守る対処の仕方などについて、施設の状況から考えられる対応や内容を計画的に指導し、地域や関係機関と連携を図りながら進めていますか。



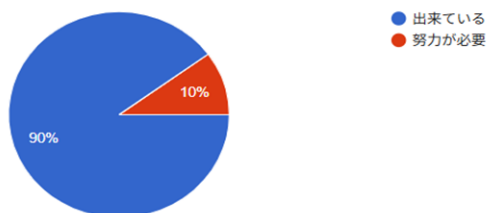
16.自分で清潔にしたり、衣服の着脱をしたり、楽しく食事をしたり、排泄したくなった時にトイレで排泄した後の始末をしたりするなど、生活の中で子ども自身が必要性に気づき、習慣化でき、心地よさや満足感を得られるように家庭での生活の実態を把握し、連携を取りながら、個々の実情に応じて関わっていますか。



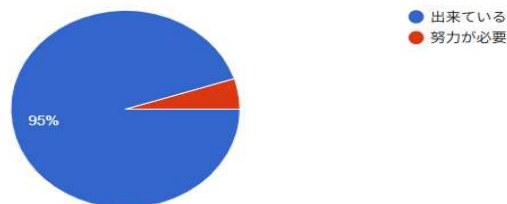
21.保育所生活の中で自分の居場所を確保し、安心感を持って、やりたいことに思いきり取り組めるよう子どもを温かく受け入れて信頼関係が築けるように関わっていますか。



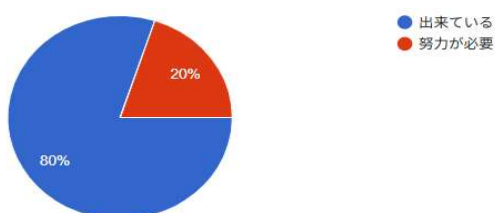
2 2.一人ひとりの子どもに思いを寄せ、生活の仕方や生活のリズムを共にすることによって、子どもの気持ちや欲求などの、目に見えない心の内を推測し、内面を理解しようとして関わっていますか。



2 7.難しいことでも諦めずに、やり遂げようと粘り強く取り組む気持ちや、前向きな見通しを持って自分で解決しようとする気持ちなどを育むために、温かく見守り、支え、やりたい気持ちを大切にし、やり遂げたことを共に喜べるように必要に応じて適切な援助を心がけていますか。



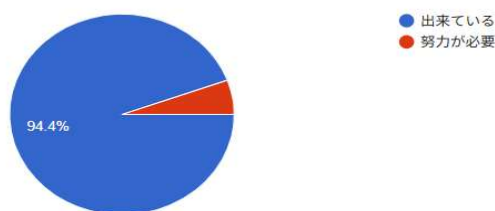
2 3.一人ひとりが集団の中で認められ、その良さや特徴が活かされ自信を持って行動できるように、子ども同士が刺激し合い、相互にモデルになるなど影響を与えながら、育ち合えるような集団のあり方を大切にしていますか。



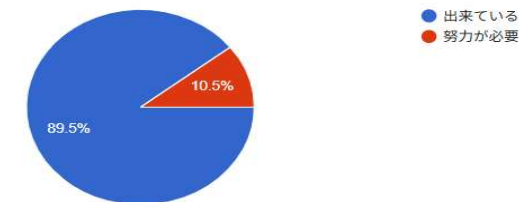
2 8.子ども自身が友だちの良さに気づいていけるように、一人一人の良さや可能性を見出し、その子らしさを損なわず、愛情を持って温かい気持ちで接していますか。



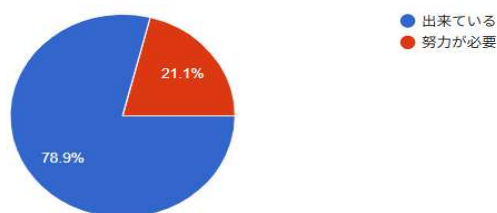
2 4.自分なりに考えて、自分の力でやってみようとする態度を培っていくために、楽しみながら活動を展開し、充実感や満足感を味わえるようにしていますか。



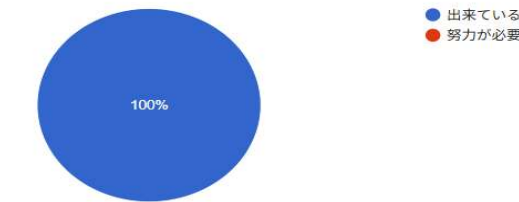
2 9.友だちと一緒に活動するだけにとどまらず、その中で、子ども同士が目的を共有したり、一人だけでは得られない盛り上がる気分を感じたり、工夫し合ったり、力を合わせて問題の解決をしたりして、自分も友だちも生き生きとした関係性を築いていけるように、一人一人が自己発揮しながら、友だちと多様な関わりができるように援助していますか。



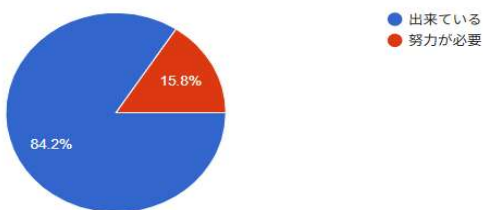
2 5.子どもが試行錯誤しながら、考えを巡らせる時間を十分に認め、せかすのではなく、時には、保育者と一緒にじっくり考える時間を作っていますか。



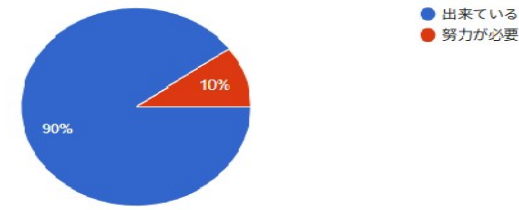
3 0.良いことや悪い言動があることに気づき、善悪の基準を作っていくためには、こどもから信頼、尊敬され、甘えてもよいと思われる存在になったうえで、子どもの行動に喜怒哀楽の姿を見せ、反応を示すことが基盤になるが、そのような存在が大切だと思っていますか。



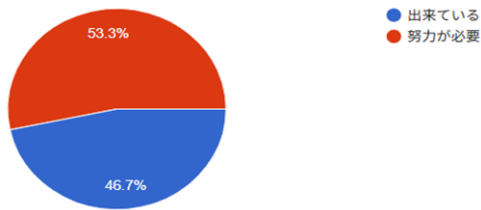
2 6.友だちとの葛藤の中で、自分と異なったイメージや考え、思いを持つ存在に気づき、他者の良さに目を向けることができるように見守り、援助していますか。



3 1.保育所での生活には様々なきまりがあるが、守らないために起こる問題に気づき、必要性を子どもなりに理解できるように援助し、そのうえで守ろうとする気持ちが持てるように見守っていますか。

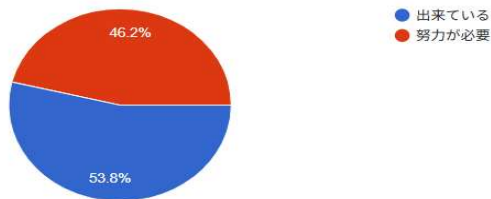


32.地域の多様な人々と交流し、触れ合っ
て楽しむことができる機会を作
っていますか。

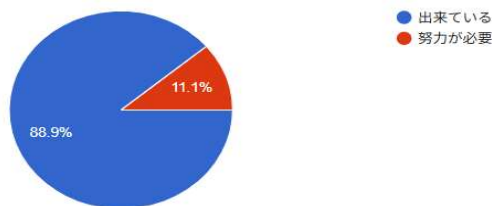


3.3.施設内外には様々な物があり、これらの環境に好奇心や探求心を持って主体的に関わり、豊かな体験ができるよう、意図的、計画的に環境を構成していますか。

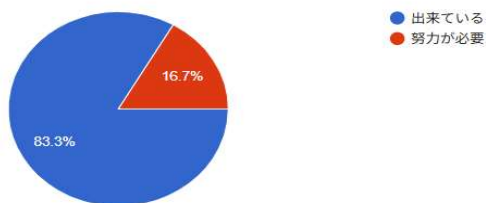
13 件の回答



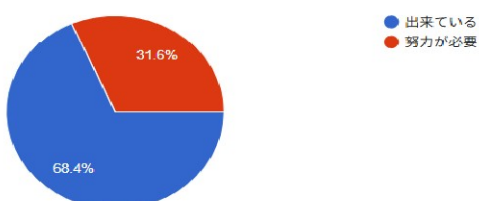
34.身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対して関わりを広げる援助を心がけていますか。



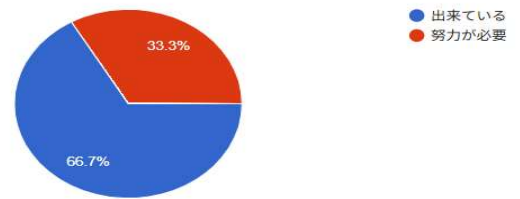
35. 自然と触れて遊ぶ中で、全身で自然を感じる体験によって、心が癒され、畏敬の念、親しみや愛情を育むだけでなく、科学的な見方、考え方の芽生えを培う学びの場であると捉えて関わっていますか。



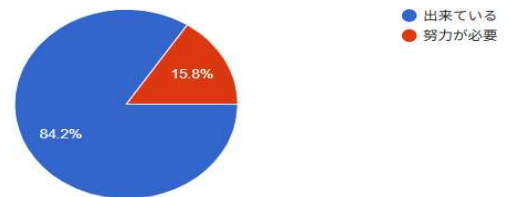
36. 周囲にある様々な物に触発されて遊びを生み出し、見立てを楽しんだり、その遊びに興味を持った友だちが集まり、アイデアが生まれ、性質や仕組みについて発見したり、試行錯誤しながら、新しい気づきや発想を生み、遊びが広がり深まっていくに関わっていますか。



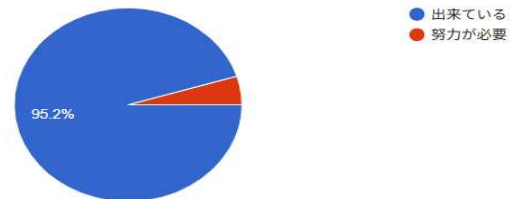
37.自然の様々な恵みを遊びに取り入れて遊びを楽しむ中で、目に見える物だけでなく、見えないものに気づき対話し、遊びに取り入れることを大切にしていますか。



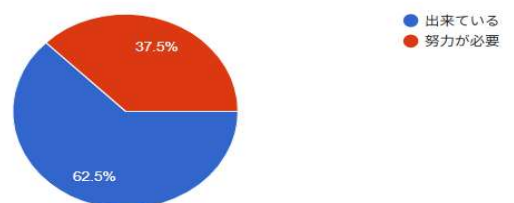
38.身近な動植物に触れる機会をつくり、大人が世話をしている姿を通して、それらに親しみを持って接する中で、実際に世話をすることによって大切にし、生命の尊さに気づいていくことができる活動への配慮をしていますか。



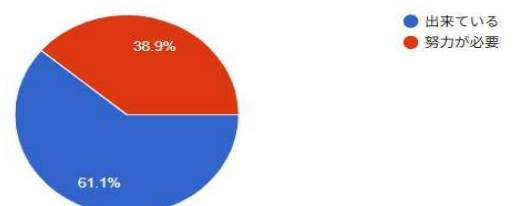
39. 保育者自身が感性を豊かに保ち、“自然とその変化”の素晴らしさに感動したり、子どもが自然に関わって感じている姿を喜び、共鳴したりすることが出来ていますか。



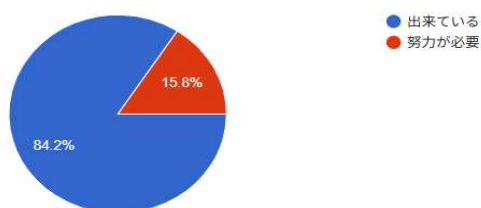
40.日常生活の中で、日本や地域社会の様々な文化や伝統に触れて、豊かさに気づき、園生活にそうした伝統的な遊びを取り入れ、家族や地域の人と一緒に楽しめる場を設けていますか。



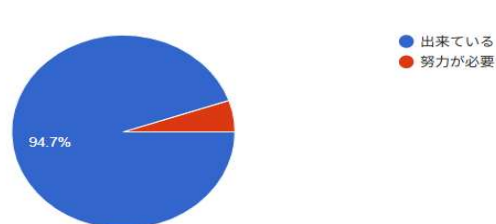
4-1. 身近にある物を使って、試したり、考えたり、工夫して作ったりして遊べるように、物と十分関われる環境を構成し、その物に対する興味や関心、仕組みなどについて探求できるよう援助していますか。



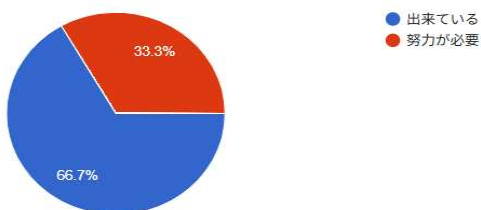
4 2.日常生活の中で、数えたり、量ったり、様々な形や図形に気づいたりして、関心を持って生活に使うことができるように見守っていますか。



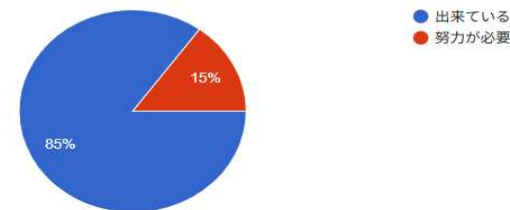
4 7.子どもの話やその背後にある思いなどを保育者が心を傾けて聞いたり、友だち同士で自由に話せる雰囲気をつくったり、子ども同士の交流が図られるように心がけていますか。



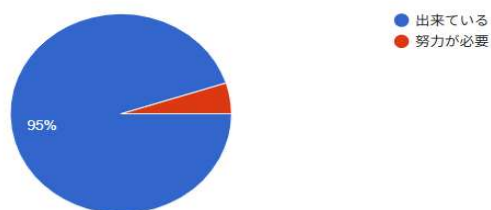
4 3.保育者が興味深くテレビで見た話題、地域の催しや出来事など多様な情報から、子どもの生活に関係の深い情報を適切に選択して掲示したり、話したりして興味や関心を引き出す取り組みをしていますか。



4 8.生活や遊びを進めていくうえで、必要な言葉の意味を理解していけるように、子ども自身がその意味に気づけるように保育者の実際の行動で示していますか。



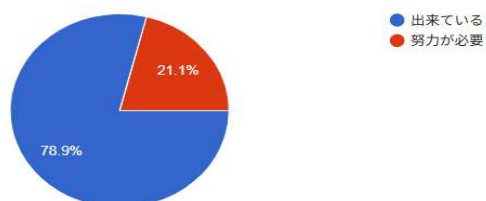
4 4.保育者や友だちの話、言葉に興味・関心を持ち、自ら聞こうとしたり、自分でも積極的に言葉を使ってみたりして、お互いに思いを伝え合える関係ができるように援助や工夫をしていますか。



4 9.挨拶や感謝、お礼の言葉の中で相手を気遣う言葉を素直に使えるように、保育者が送迎時に気軽に挨拶を交わしたり、職員間、保護者や子どもにお礼の言葉や気遣いの言葉などを日常的に使ったりして、温かな雰囲気気を配っていますか。



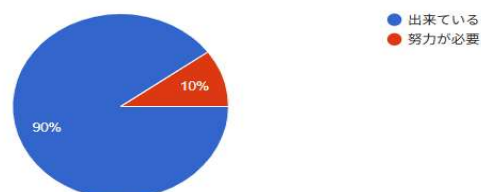
4 5.自然の美しさに触れた時、楽しい活動をした時、友だちとけんかした時、失敗して悔しい思いをした時など、心を動かされる体験の中で、新しいことを思いついたり、疑問を感じたりできるような多様な場を作っていますか。



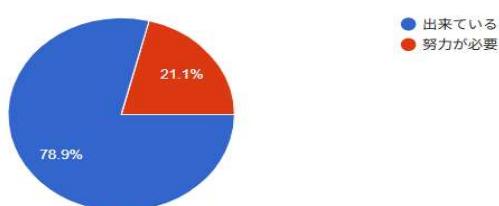
5 0.自分が感じたこと、見たことをすべて言葉で表現することや、様々な体験を通してイメージを膨らませ蓄積したことを言葉で表現することは難しいが、子どもが素直にそれを表現しようとしている時は、そうした表現をしっかりと受け止めていますか。



4 6.伝えたい、話したい内容を的確に言葉で表現できず、表情など交えて表現しようとしている時、保育者がそうした思いを受け止めて、言葉を補ったり、感情の表現を共有したりして、言葉で表現しようとする意欲や伝わる喜びが感じられるように援助していますか。



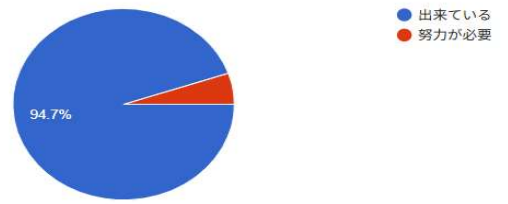
5 1.絵本・物語などで見た、聞いた内容を、自分の経験と結びつけながら、想像したり、自分なら「こうしよう」と考えたり、「なぜ」「どうして」など様々な思いや感動をすることで、想像力豊かに考える体験ができるように、絵本・物語などに触れる機会を大切にしていますか。



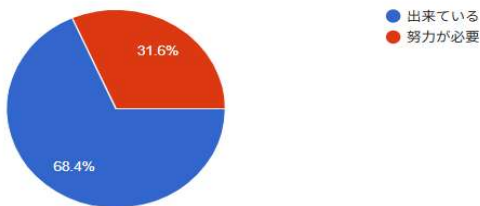
5 2.一人ひとりが自分の選んだ絵本といつでも出会え、自分なりの感じ方、楽しみ方で絵本や物語の世界に浸ることができるように、子どもの目に触れやすく、取り出しやすい場所に絵本を置いていますか。



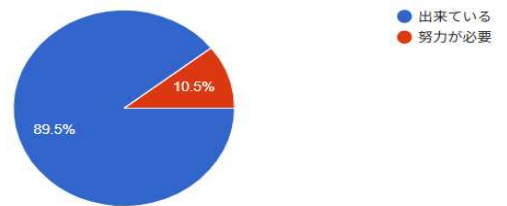
5 7.年齢によっては、言葉以外の様々な表現方法で感動を伝えようとするが、周りの子どもに伝わりにくい場合もあり、保育者が仲立ちとなって伝えながら、みんなで感動を共有し、伝え合う喜びを味わえるように工夫していますか。



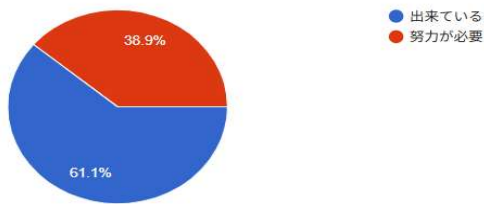
5 3.文字、絵、標識などの機能に気づき、役割を知り、使ってみたいという必要感を持って、読んだり、書いたり、記号を使ったりできるように、一人ひとりへの興味や関心に応じて援助していますか。



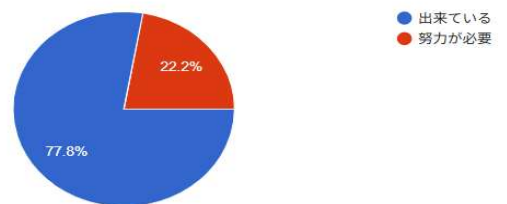
5 8.子どもが感動し、それを表現しようとする意欲を高めるために、何より保育者自身が様々な場面で、子どもが心を動かされていることに感動できる豊かな感性を身に付けることを大切にしていますか。



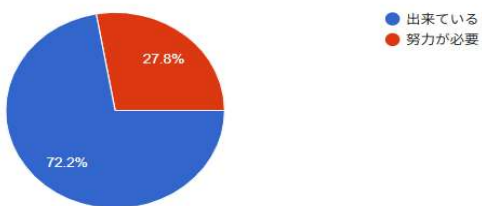
5 4.保育所での生活には、文字に関わる体験をする場が豊かにあり、一人ひとりの興味に合わせて、遊びの中で必要に応じて、文字を読んだり、書いたり、遊具のように見立てて使ったりして、楽しさを体験している姿を捉えて、指導を工夫していますか。



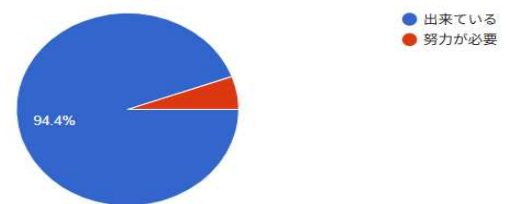
5 9.保育者が意図しないような思わぬものを遊びに取り組み、一つの素材についても色々な使い方をしたり、工夫して作ったり、表現したりして、表現力や創造力を育てていくので、魅力ある素材が豊かにある環境の構成をし、保育者が誘導し過ぎないように、子どもの主体性を尊重していますか。



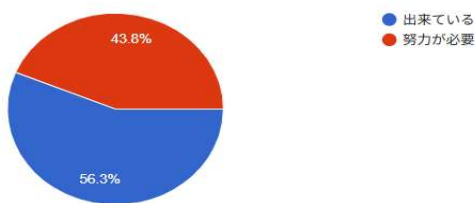
5 5.感じる、考える、イメージを膨らませるなどの経験を重ねることができるような環境の構成をし、感性と表現する力を養い、創造性を豊かにする工夫をしていますか。



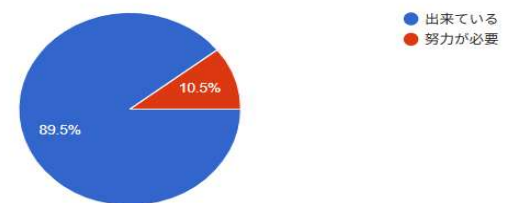
6 0.生活や遊びの中で、体験したこと、思ったことを描いたり、作ったり、遊びに使ったりしている時、子どもがそれらに託しているイメージを受け止め、自己表現しようとする気持ちを捉え、必要な素材や用具を用意し、援助して、表現する喜びを味わえるようにしていますか。



5 6.様々なものから刺激を受け、敏感に反応し、諸感覚を働かせ、素朴に受け止める豊かな感性を養っていくために、身近な環境を重視して、興味や関心を引き出すような豊かな環境を構成していますか。



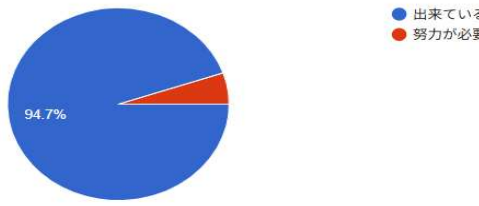
6 1.子どもが表現する過程を楽しみ、そうした経験を重ね、その子なりの自己表現が豊かになっていくように、子どもの心に寄り添いながら適切な援助を大切にしていますか。



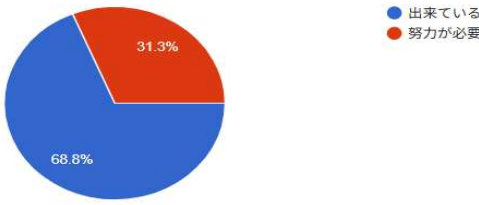
6 2 .幼児期の発達 は、心身共に個人差が大きい ため、同じ月齢や年齢の子ども 的平均的、標準的な姿に合わせて教育及び保育をするのではなく、一人ひとりの発達の過程をふまえたうえで教育及び保育をしていますか。



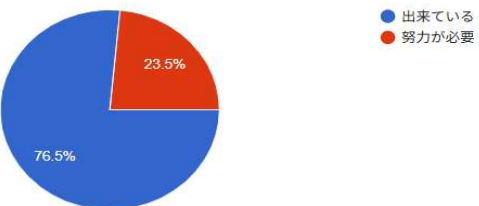
6 3 .大人との信頼関係を 抛りどころにして、安心感を持って、積極的に環境に関わり、生理的・身体的な発達を促し、心と体を育てていくので、こうした心と体の関係を十分に理解し、子どもをまるごとを受け止め丁寧に関わっていますか。



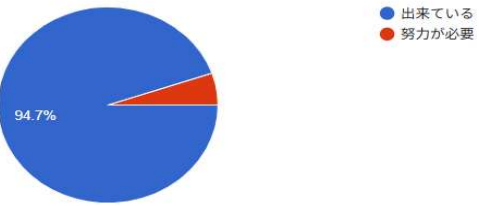
6 4 .子どもにとって、魅力的で意欲的に取り組み たい活動ができる環境を構成し、子どもと一緒に考えたり計画したりしていますか。



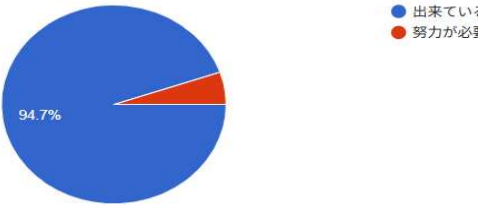
6 5 .子どもの気持ちを尊重し、「自分でやってみ たい」という気持ちが表れるのを待ったり、子どもの興味や関心に沿って環境の構成を変えたりしていますか。



6 6 .活動に取り組む中で、うまくできない悔しさを 感じて様々に試行錯誤を重ね、自分でできたという達成感を味わうことができるよう に行動を見守ったり、適切に援助したり見守ったりしていますか。

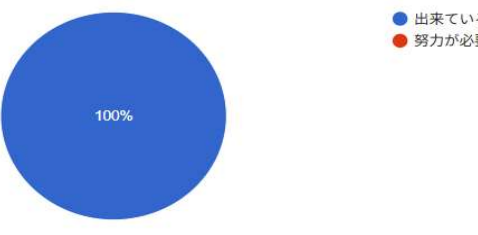


6 6 .活動に取り組む中で、うまくできない悔しさを 感じて様々に試行錯誤を重ね、自分でできたという達成感を味わうことができるよう に行動を見守ったり、適切に援助したり見守ったりしていますか。

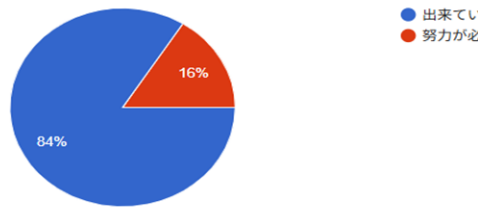


2 保育の内容 5)特別な配慮や支援を必要とする子ども(障がい児)の保育

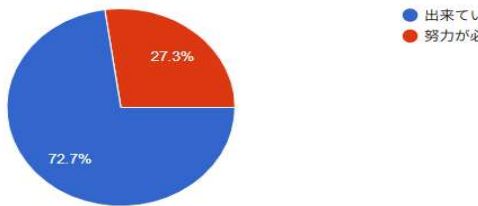
1 .保育所は、障がいのある子どももそうでない子どもも「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。



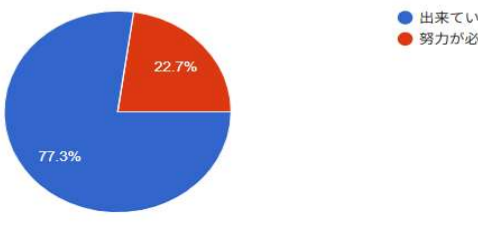
2 .障がいのある子どもが入所した時、安全管理や個別的対応などその子どもを受け入れるための保育を、積極的に進めようと考えていますか。



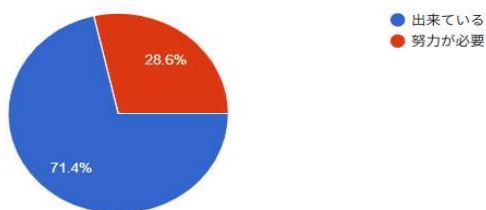
3 .障がいのある子どもについて素朴な疑問をなげかけてくる子どもに対して、必要に応じて障がいの性質や行動の困難さなどについて、丁寧に説明していますか。



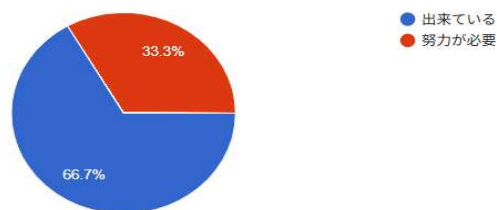
4 .あなたは、障がいのある子どももそうでない子どもも互いのよさを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。



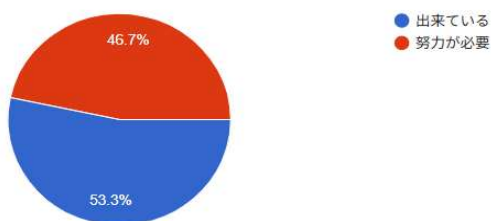
5.あなたは、障がいのある子の世話をしすぎる子どもや、逆に無関心な子どもの存在に気づき、それへの配慮を心がけていますか。



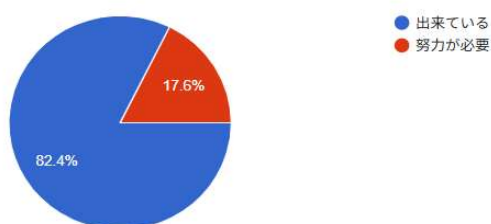
6.あなたは保育所でのケース会議で積極的に議論することにより、施設内の障がいのある子への理解を深めるように努力していますか。



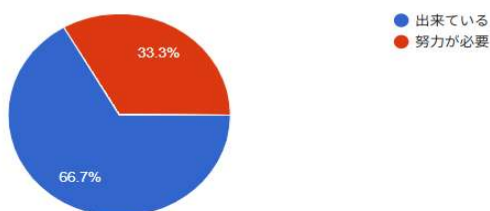
7.あなたは、障がいのある子により適切な保育をするために、様々な専門機関等と連携をしていますか。



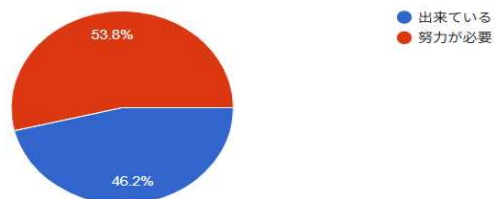
8.障がいのある子の保護者が、様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることはありませんか。



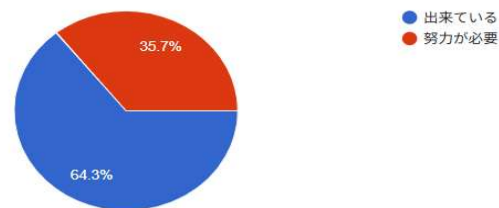
9.日常的に障がいのある子の保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持の援助に心がけていますか。



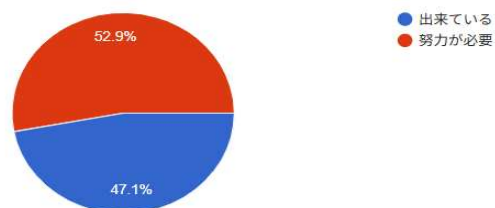
10.就学に向けて相談する障がいのある子の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。



11.障がいのある子を受け入れる保育所の方針を、健常児の保護者に理解してもらえるように努力していますか。

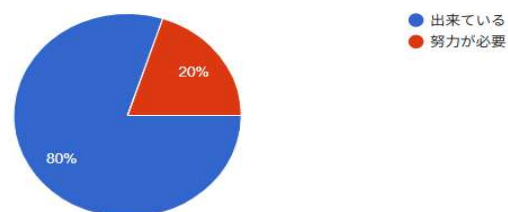


12.障がいのある子に保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境（遊具等）を整えるなどの努力をしていますか。

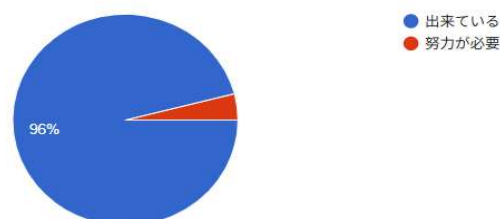


2 保育の内容 6)行事

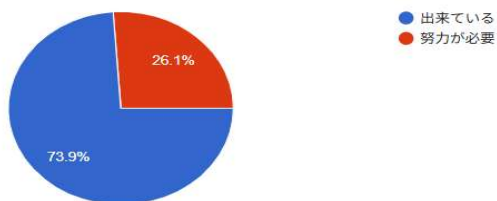
1.あなたは、保育所が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。



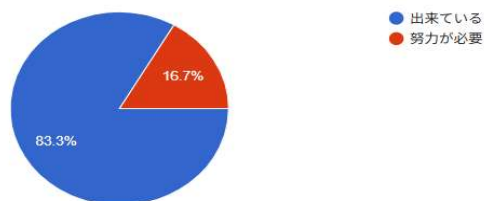
2.「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。



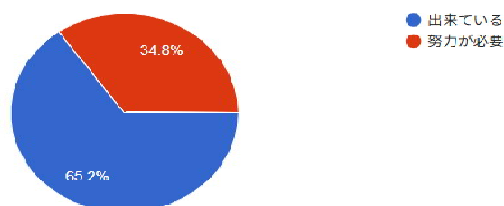
3.みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。



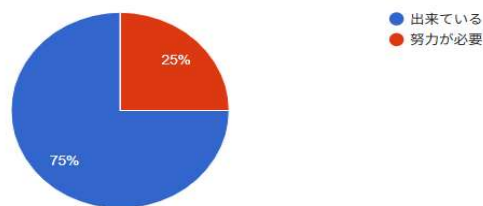
8.あなたは、「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。



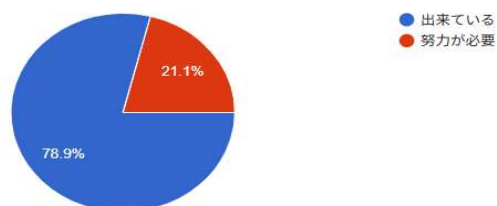
4.あなたは、子どもたちにとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか。



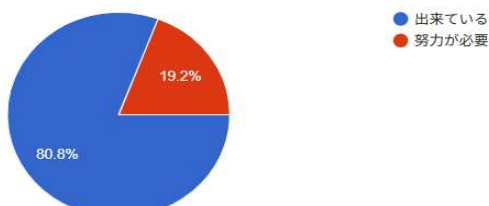
9.保護者や地域住民にも参加してもらうような「行事」については、園だよりや広報紙等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。



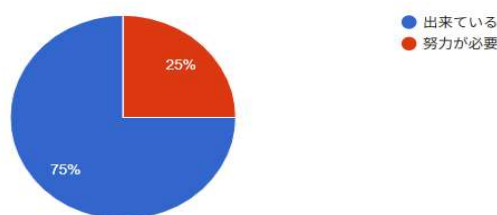
5.子ども達が期待を持って「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。



10.子どもも保護者も期待感を持つ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。

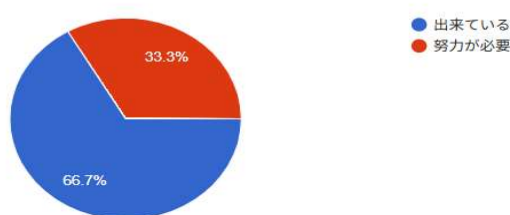


6.「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。

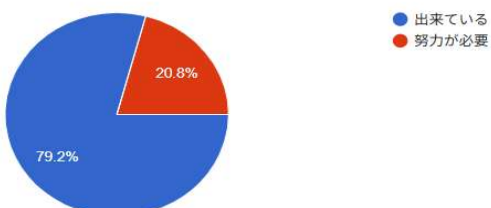


2 保育の内容 7)延長保育

1.長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気配慮していますか。



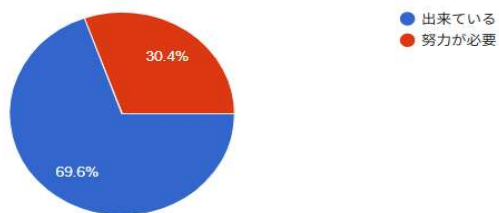
7.保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらいたい気持ちのゆとりを持っていますか。



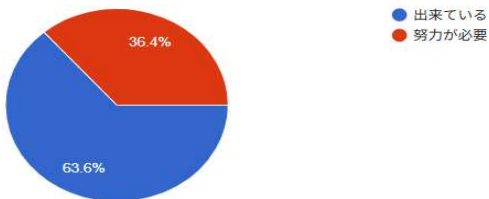
2.次々にお迎えが来るなかで、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて、安定した気持ちで待つことができるような適切な対応をしていますか。



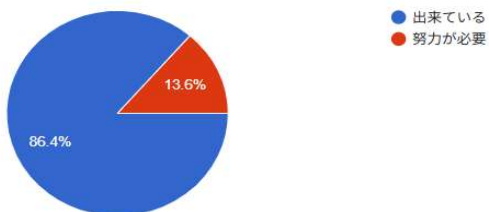
3.あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。



4.延長保育の子どもには、担任でなくても、保育所での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡ノートやおたよりを活用していますか。

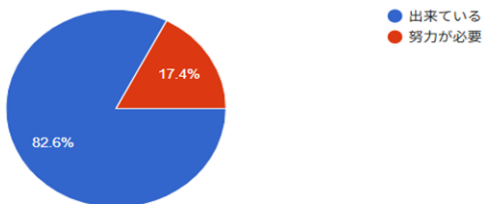


5.延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。

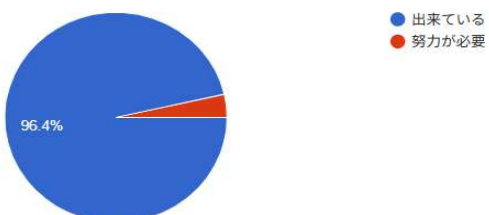


3 保健活動・安全管理

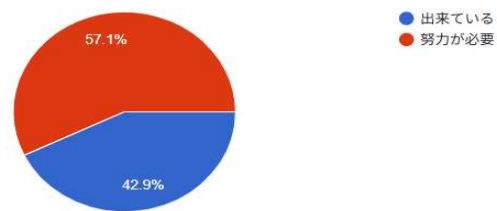
1.身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えとともに、日常の保育に生かしていますか。



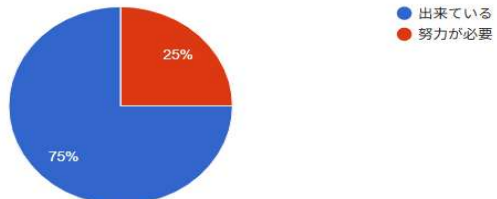
2.その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。



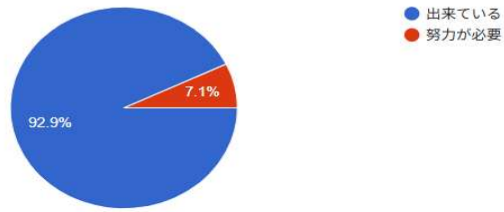
3.あなたは、子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように、嘱託医の指導を受けるなど日ごろから学習をしていますか。



4.あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。



5.子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。



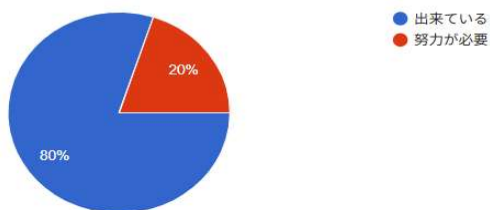
6.あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。



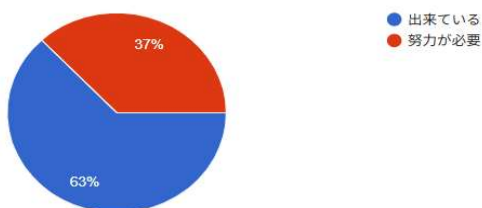
7.アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか。



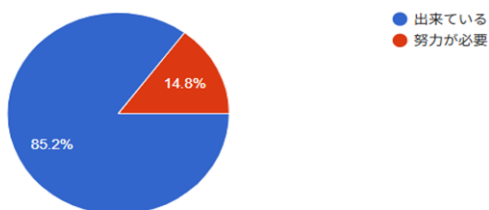
8.あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、所長に伝えるなどの防止策を考えていますか。



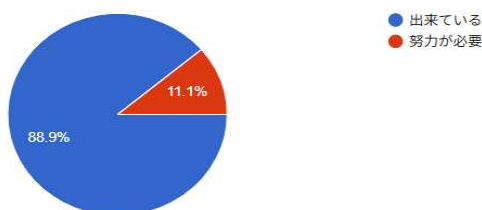
9.備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。



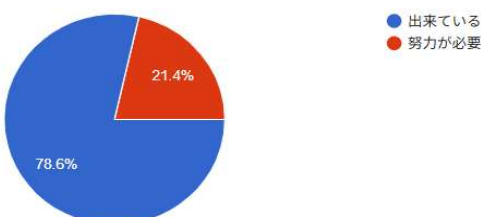
10.所庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り起こして整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。



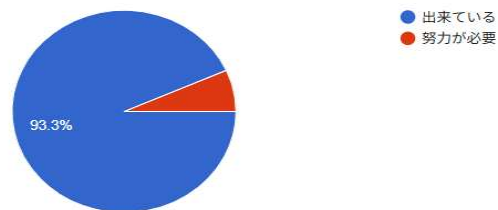
11.地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。



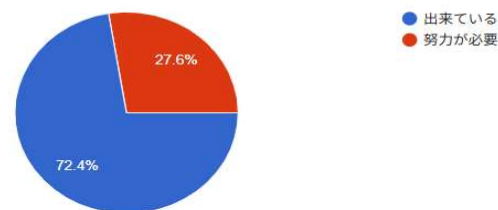
12.登降所児の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができますか。



13.そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。

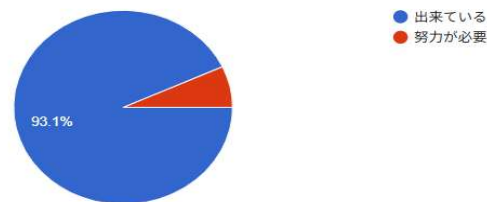


14.不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。

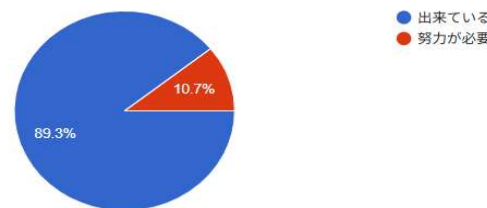


4 保護者・地域社会・関係機関との連携

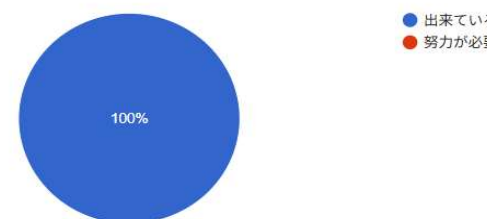
1.保育所での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことができますか。



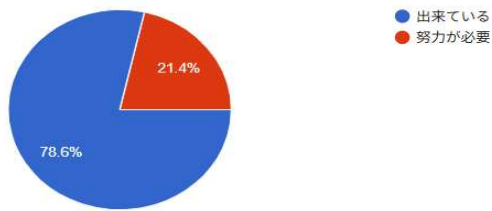
2.その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。



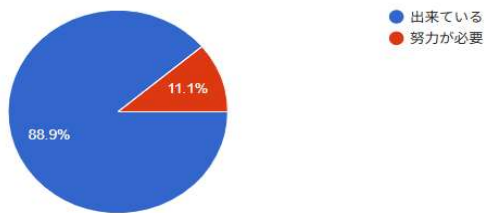
3.保護者から突然、お迎えが遅くなると連絡があった時にも、快く対応するよう努めていますか。



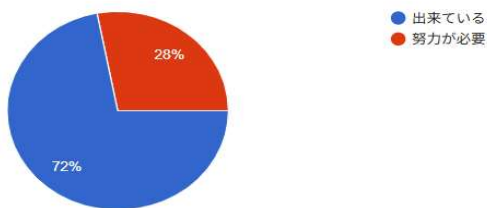
4.保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすすんで触れ合うことを心がけていますか。



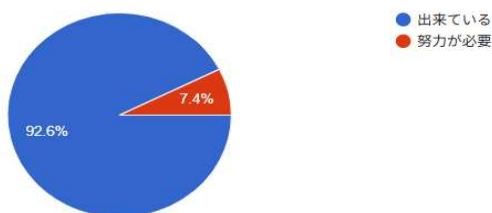
5.たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞こうとする姿勢が持てますか。



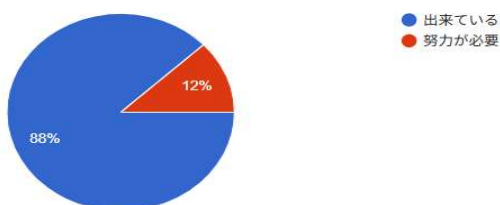
6.あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、所長等と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか。



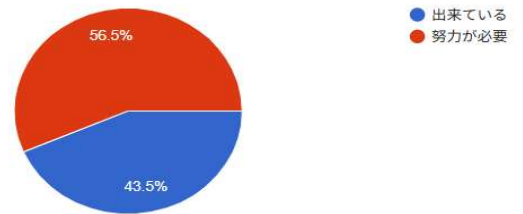
7.保育所が、保育参観だけでなくときには保護者に保育参加（保育に直接加わる）をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか。



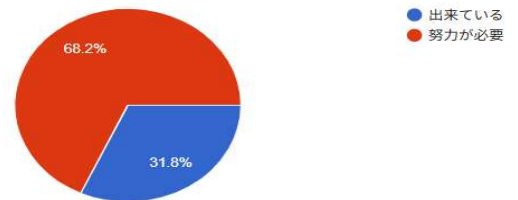
8.あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。



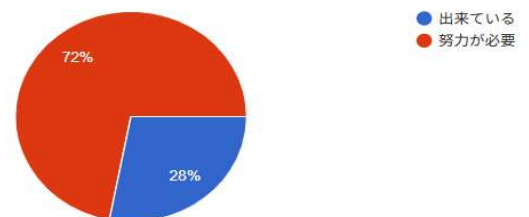
9.保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。



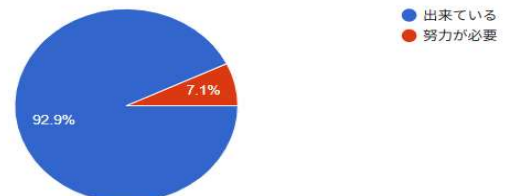
10.地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんとした見通しを持っていますか。



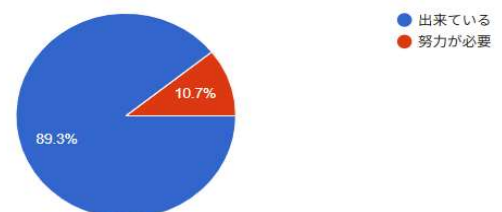
11.老人会、町内会など地域組織と連携するとき、保育士としてどういう役割を担うべきか、考えたことがありますか。



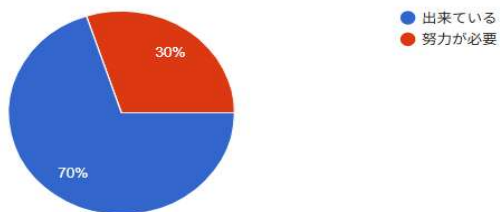
12.あなたは、保育所が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどくがらずに指導することができますか。



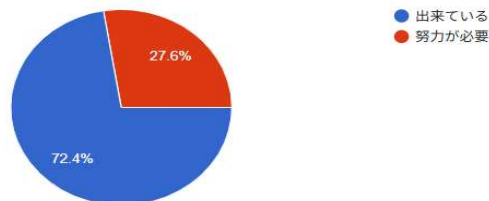
13.散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。



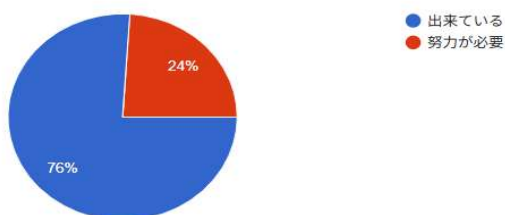
1 4.地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子ども達が豊富な社会体験を得られるようにしていますか。



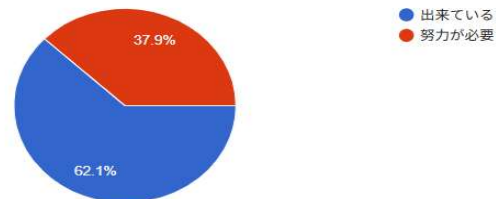
3.あなたは、相談の基本原則（需要・相互信頼関係・個別性・自己決定・秘密保持）について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか。



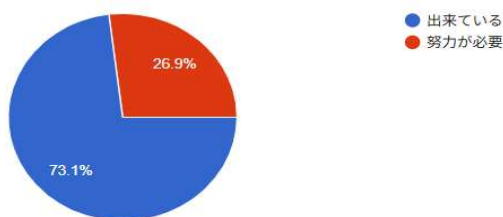
1 5.公園などの公共の場を使用した後は、あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか。



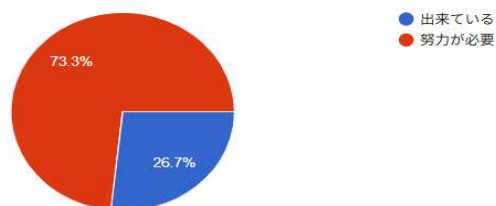
4.あなたは、本来業務の保育に支障がない限り、電話相談などの子育て支援を行いたいと思いますか。



1 6.あなたは言葉が通じない外国人に、尻込みしないで身ぶり手ぶりやIT機器を利用して対応できますか。

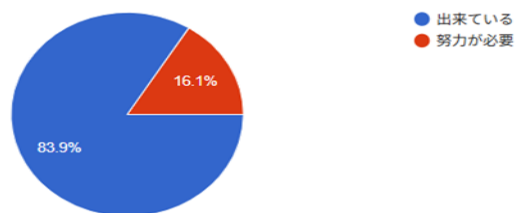


5.あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等（保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等）の機能についてよく知っていますか。

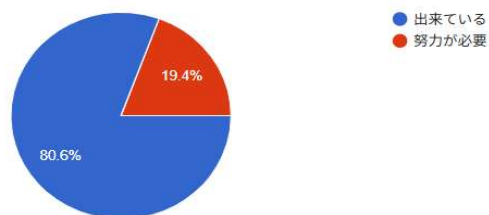


5 地域の子育て支援

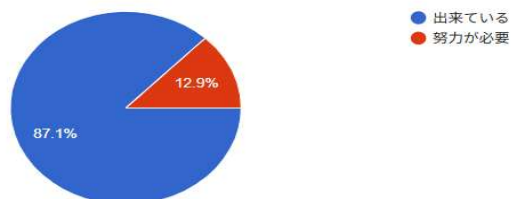
1.あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを自覚していますか。



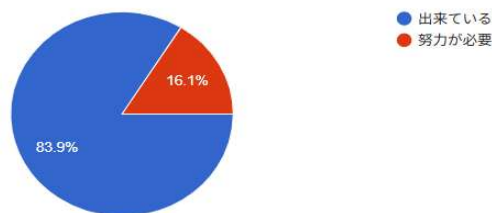
6.あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務保育所が実施するときには、協力するつもりですか。



2.あなたは、保育所には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかかわりたいと考えていますか。

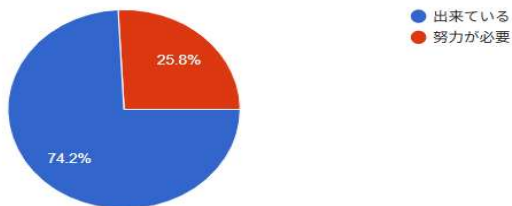


7.保育所が発信元になって、保育所の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。

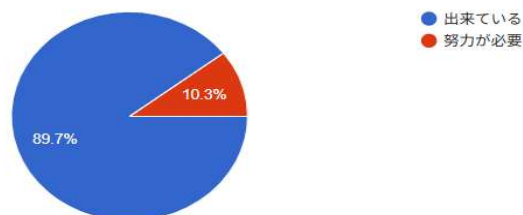


6 保育園の職務・役割分担

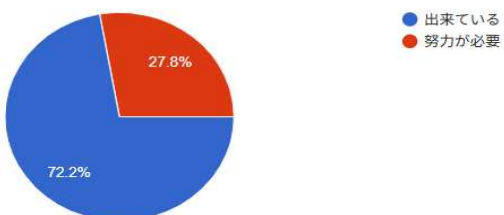
1. 所長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。



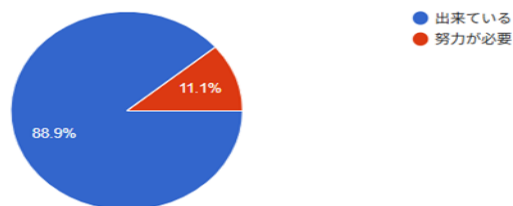
2. 登所を嫌がるが続くなど、問題を感じたとき、あなたは所長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか。



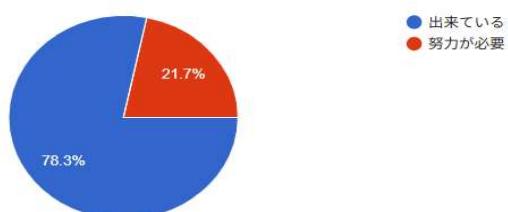
3. あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。



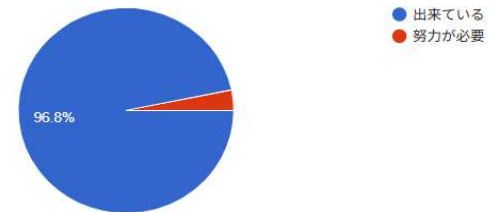
4. 栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割がなんであるか理解していますか。



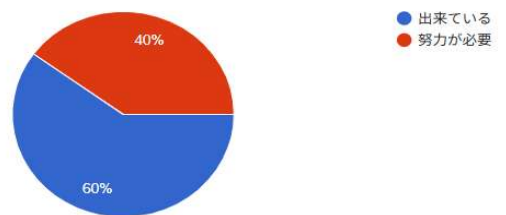
5. あなたは、保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待を持っていますか。



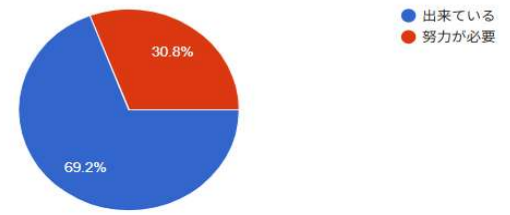
6. あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。



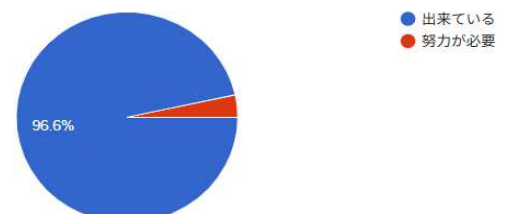
7. あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。



8. あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。

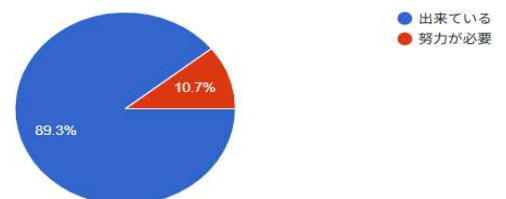


9. あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。

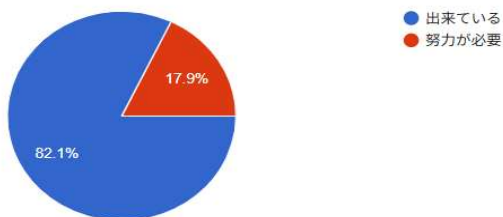


7 保育士としての資質向上（研修・研究活動）

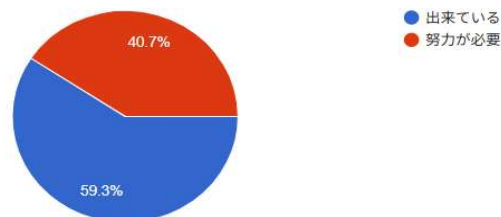
1. あなたは、保育士としての責任と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。



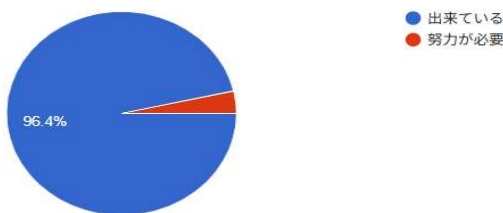
2.あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。



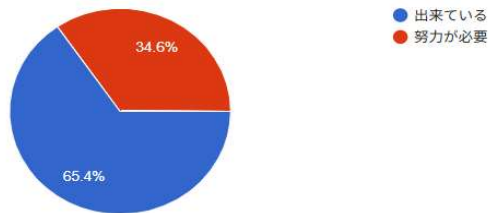
7.あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことができますか。



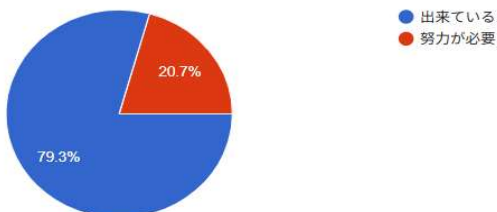
3.自分の保育に対する同僚や上司からの批判や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。



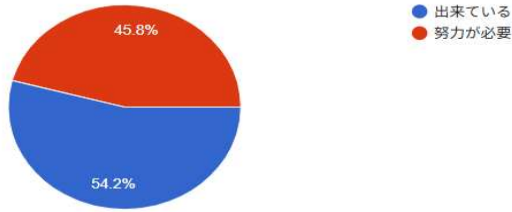
8.あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べるすることができますか。



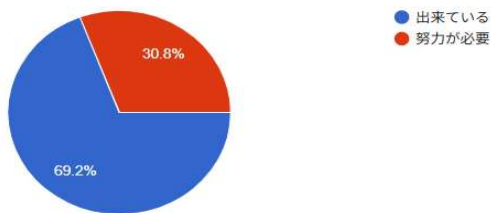
4.保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。



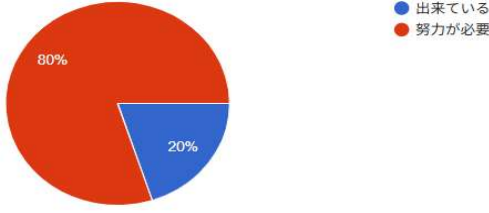
9.あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。



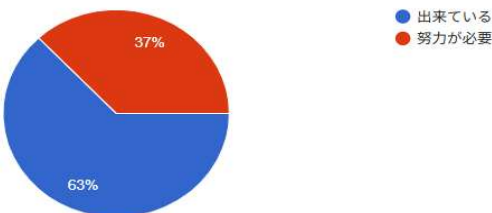
5.あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。



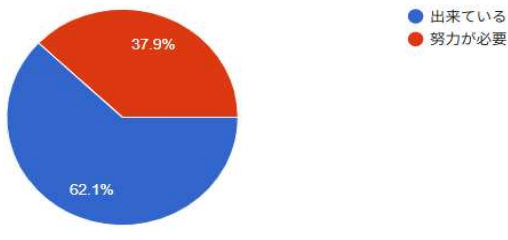
10.あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。



6.あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題を見つけ、ケーススタディーをすることができますか。



11.あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思いますか。



1 2.あなたの保育実践について、所長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。

